

## 5. 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(H24～H26)」の取組について (3)

### (3)「早い段階から将来目標／社会・企業を意識させる課外活動その他の取組」 関連

#### ⑤合宿研修プログラムの拡大

従来新生を対象として実施していたキャリア教育合宿研修(ルーキーズキャンプ)を全学年に拡大する。平成24年度中に実施案の作成と実施体制の整備を行い、平成25年度から随時拡大を目指す。

#### ⑥各種事業におけるキャリアポートフォリオの有効活用

キャリアポートフォリオの効果を高めるためには、幅広い事業での利用とポートフォリオを通じた教員と学生、あるいは学生同士の交流が必須であることが確認された。これに基づき、平成24年度からキャリアポートフォリオ利用科目を増加させるとともに、運用スタッフの充実を図る。

#### ⑦進路内定後活動の支援

進路内定後4年生を対象として、残りの学生生活を有意義なものにし、社会的・職業的自立を促すことを目的とした「社会人0年生セミナー(仮)」を実施する。雇用のルールや労働者の権利などの知識を学ぶとともに、ストレスコントロール力やヒューマンスキルの向上などについて研修を行い、就職後の円滑な職業人生活のスタートを支援する。

- 特に、教育内容の評価・検証や地域・企業等からの人材育成ニーズのフィードバック、さらにインターンシッププログラムの充実等を事業を進める上で、緑丘会のご協力は欠かすことが出来ません。また前述のように、本事業を通じて得られた各大学のノウハウや成果は、北海道・東北ブロック内の連携大学間で共有され、さらに他の地域にも広く波及することが求められているところでもあります。これらのことを通じて、緑丘会の公益法人としての存在感がますます高まることとなることが強く期待されるところであります。

## 6. おわりに

- 小樽商科大学が本格的にキャリア教育に取り組み始めてからすでに6年が経過し、学生指導の現場の声としては「近年学生が元気で活動的になっている」「新しいことにチャレンジする学生が増えている」などをよく耳にするようになりましたが、この間の学生の就業力およびその核となる社会人基礎力の向上を全学網羅的・定量的に評価するにはいたっていません。また学生の育成成果の評価に加えて本事業そのものの評価についても客観的な視点がもとめられ、あわせてキャリア教育プログラムの各種事業の深化ならびに教育効果の検証など、多くの場面で緑丘会との連携の重要性が増すことが予想されます。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

